

9月29日(水)東大プロジェクト世界史補習 採点基準(まとめ)

2013年東大世界史 第2問(2)

中国では魏晋南北朝時代になると、国家との関わりの中なかで、今日まで影響力を持つような宗教が現れた。以下の(a) (b)の問いに冒頭に(a) (b)を付して答えなさい。

(a) この時代には、鳩摩羅什が華北で国家の保護を受けて布教するなど、仏教が本格的に広まった。

陸路や海路で西域やインドとの間を行き来して、仏教の普及に努めた人々の活動について、2行(60字)以内で説明しなさい。

加点項目

- ① 仏図澄は五胡十六国の華北で布教した。
- ② 東晋の法顕は、仏典を求めてグプタ朝を訪れた。
- ③ インド僧の達磨は中国に渡り、禅宗を開いた。

解答例

クチャ出身の仏図澄は華北で布教し、東晋僧の法顕はグプタ朝を訪れて『仏国記』を著し、インド僧達磨は中国で禅宗を開いた。(58字)

仏図澄は華北で布教し、鳩摩羅什は仏典を漢訳し、東晋僧の法顕は仏典を求めてグプタ朝に渡り、海路を使って帰国した。(55字)

(b) 北魏では、太武帝の保護を受け、その後の中国で広く信仰される宗教が確立した。その宗教の名称とその特徴、およびその確立の過程について2行(60字)以内で説明しなさい。

加点項目

- ① 道教
- ② 不老不死や現世利益
- ③ 神仙思想や老荘思想を基盤とする。
- ④ 後漢末に生まれた民間信仰である五斗米道を融合
- ⑤ 北魏の寇謙之が新天師道として教団化
- ⑥ 仏教に対抗した。

解答例

道教。不老不死や現世利益を求める信仰。神仙・老荘思想を源流に後漢末には五斗米道が成立し、北魏の寇謙之により教団化された。(60字)

道教。不老不死や現世利益を特徴とし、後漢の五斗米道が北魏の寇謙之により教団化され、仏教に対抗するなかで国家と結びついた。(60字)

東大 2011 年 第2問

テヴェレ川のほとりに建設された都市国家ローマは、周辺の都市国家を征服してイタリア半島全体を支配し、やがて地中海世界を手中におさめる大帝国となった。帝政に移行する紀元前後からおよそ 200 年にわたる時期はパクス＝ロマーナとたたえられ、平和が維持された。以下の(a) (b) の問いに、冒頭に(a) (b) を付して答えなさい。

(a) ローマの平和と繁栄を示す都市生活を支えていた公共施設について、2行(60字)以内で説明しなさい。

加点項目

- ①公共施設的具体例…道路・水道・広場・公衆浴場・円形闘技場
- ②公共施設が建てられた目的・背景

解答例

皇帝や有力者は市民の支持を得るため、道路・水道・広場・円形闘技場・公衆浴場などのインフラや娯楽施設を建築した。(55字)

帝国内の各地に統一された道路・上下水道・円形闘技場・公衆浴場などが建設され、市民はローマ帝国民としての同質意識をもった。(60字)

(b) ローマの市民権の拡大について、2行(60字)以内で説明しなさい。

加点項目

- ①分割統治と市民権
- ②同盟市戦争と市民権の拡大
- ③カラカラ帝により帝国全土の自由民に拡大

解答例

分割統治により植民市・自治市に、同盟市戦争をへて全イタリアの都市に、カラカラ帝の勅令で帝国全土の自由民に付与された。(58字)

はじめ市民権は限定的であったが、同盟市戦争をへて、同盟市にも拡大し、212年にアントニヌス勅令により全帝国の市民に拡大した。(60字)

東大 2009年 第2問

a 紀元前8世紀のエーゲ海周辺では、ポリスとよばれる都市が古代ギリシア人によって形作られた。ポリスはそれぞれが独立した都市国家であったため、ギリシア人は政治的には分裂状態にあったが、他方、b 文化的には1つの民族であるという共通の認識をもっていた。

(a) ポリスの形成過程を、アテネとスパルタを中心に2行(60字)以内で説明しなさい。

加点項目

- ①ドーリア人が先住民を征服した。
- ②イオニア人
- ③貴族の指導のもと、アクロポリスを中心に集住した。

解答例

スパルタはドーリア人が先住民を征服して成立し、アテネではイオニア人が貴族の指導でアクロポリスを中心に集住した。(55字)

アテネはイオニア人がアクロポリスを中心に集住して成立し、スパルタはドーリア人がアカイア人を征服して成立した。(54字)

アッティカ地方には、イオニア人が集住しアテネが成立した。ラコニア地方にはドーリア人が先住民を征服し、スパルタが成立した。(60字)

(b) この共通の認識を支えた諸要素を、具体例をあげて2行(60字)以内で説明しなさい。

加点項目

- ①共通語(ギリシア語)・ホメロスの叙事詩
- ②オリンポス12神・オリンピアの祭典
- ③デルフォイの神託

解答例

ギリシア語、オリンポス12神、オリンピア祭典、デルフォイの神託を共有し、自らをヘレネス、異民族をバルバロイと呼び区別した。(59字)

ホメロスの叙事詩に代表されるオリンポスの12神の神話を通じ、**同一の言語**を共有し、一方言語が異なる民族を区別した。(55字)

注) コイナーではないよ!

各ポリスがオリンピアの祭典やデルフォイの神託などの共通イベントを通して、ギリシア人としての同一意識を保っていた。(56字)